

## 医療倫理学（医療行動科学3）

2 年次 前学期	授業科目責任者：伊藤 孝訓（歯科総合診療学）
----------	------------------------

学習の目標 (GIO)	<p>本講義は、医学・歯学の進歩、疾病構造と医療構造の変化、そして国民の保健・医療全般にわたる意識の向上と価値観の多様化などの社会状況の変化に十分対応するために必要な知識と医の倫理を身につけることにある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の権利を熟知し、その現状と問題点を理解する。</li> <li>・医療・歯科医療および医学・歯学研究における倫理の重要性を理解する。</li> <li>・歯科医師の義務と責任に関する基本的な知識、態度および考え方を理解する。</li> <li>・患者本位の医療を実践するための適切な説明について理解する。</li> <li>・医療事故は日常的に起こりうる事を認識し、安全で信頼される医療の提供について理解する。</li> <li>・実際に医療事故やニアミスが発生した場合の対処の仕方を理解する。</li> <li>・適切な医療の要件とその評価方法について理解する。</li> <li>・社会状況の変化と医療の係わりを理解する。</li> <li>・日本人の死生観について理解する。</li> </ul>
授業担当者	伊藤孝訓（歯科総合診療学）、那須郁夫（地域保健学）、福本雅彦（歯科臨床検査医学）、青木伸一郎（歯科総合診療学）、梅里良正（日本大学医学部）、辻 典明（日本大学医学部）、江口正尊（北海道医療大学）
教科書	「歯科医療面接アートとサイセンス」伊藤孝訓、藤澤盛一郎他、砂書房（第2版出版） その他にプリントを配布する。
参考図書	入門・医療倫理 赤林 朗編集（剗草書房） すぐに役立つ外来での患者対応学 飯島克巳（永井書店） 歯科医療人間科学へのいざない 新庄文明、山崎久美子、俣木志朗（医歯薬出版）
実習器材	なし
評価方法 (EV)	試験は、中間試験(30%)と定期試験(50%)とするが、演習要素を多く含むのでレポートを提出させる。 成績評価は、試験(80%)、レポート(15%)、出欠状況・態度(5%)を勘案し総合的に評価する。 再試験の範囲はすべての範囲とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	<p>本講義は、歯科ではあまり遭遇しない生命倫理的問題を含む事例を医学部講師より提供されるため、十分に理解を深め、自らの倫理観を確立して頂きたい。そして、さらに他者の価値観を共感をもって受け入れ、尊重できる柔軟な心を養うよう取り組んで下さい。</p> <p>E-mail(shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月11日(月) 1時間 13:00～13:50	ガイダンス	<p>準備学習項目： (1) 医療系大学生の志について説明できる。 講義： (1) シラバスの概要 ・本講義の意義、目的、講義、内容、学習の仕方を説明できる。 (2) 期待される医師のマナー ・他者との接し方、態度教育の必要性を説明できる。 ・医療プロフェッショナリズムについて説明できる。 LS：教科書、プリント、マルチメディアによる講義 &lt; A-3/ 必-2-B, 必-8-B &gt;</p>	伊藤孝訓
4月11日(月) 1時間 14:00～14:50	同上	同上	同上
4月18日(月) 1時間 13:00～13:50	歯科医師の法的義務	<p>準備学習項目： (1) 歯科医療について説明できる。 講義： (1) 患者に対する歯科医師の法的義務を説明できる。 ・医療法 ・歯科医師法 ・歯科衛生士法 ・歯科技工士法など (2) 健康の概念について説明できる。 LS：教科書、プリント、マルチメディアによる講義 &lt; A-3, C-1, C-2-1/ 必-2-D &gt;</p>	那須郁夫
4月18日(月) 1時間 14:00～14:50	同上	同上	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月25日(月) 1時間 13:00～13:50	患者の権利と尊厳	準備学習項目： (1) 患者の望む医療者の態度について説明できる。 講義： (1) 医の倫理と生命倫理の歴史的経過と諸問題を説明できる。 (2) 医の倫理に関する規範・国際規範を説明できる。(ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言など) (3) 基本的人権の尊重について概説できる。 (4) 患者が自己決定出来ない場合の対応を説明できる。 LS：教科書、プリント、マルチメディアによる講義 < A-1, A-2 / 必-1, 必-2-E-a >	伊藤孝訓
4月25日(月) 1時間 14:00～14:50	同上	同上	同上
5月2日(月) 1時間 13:00～13:50	医療倫理実践のためのコミュニケーション - 医療倫理の考え方 -	準備学習項目： (1) 基本的な問題解決法について説明できる。 講義： (1) Jonsenの「臨床倫理の4分割法」を実践できる。 (2) 倫理的課題について解決する方法を実践できる。 (3) コンプライアンスの重要性を説明できる。 LS：教科書、プリント、マルチメディアによる講義 < A-1, A-2, B-1-1) / 必-1, 必-2, 必-8-A, 必-12 >	伊藤孝訓
5月2日(月) 1時間 14:00～14:50	同上	同上	同上
5月9日(月) 1時間 13:00～13:50	医療倫理実践のためのコミュニケーション - 他文化圏のインフォームド・コンセント -	準備学習項目： (1) ICについて説明できる。 講義： シネエデュケーション「米国におけるIC」 (1) ICの定義と重要性を説明できる。 (2) 歯科医師の裁量権と患者の自己決定権について説明できる。 (3) ICの法的義務について説明できる。 (4) 患者説明を行うための適切な時期・環境を説明できる。 (5) 説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮する必要性について説明できる。 (6) 医学と歯学の医療における違いを概説できる。 LS：プリント、VTR < A-1～A-4, B-2-1), B-2-2) / 必-1, 必-2-A-e, 必-10-A, 必-10-I >	伊藤孝訓
5月9日(月) 1時間 14:00～14:50	同上	同上	同上
5月16日(月) 1時間 13:00～13:50	歯科医師の責務と裁量権 - 医療と研究に関する倫理 - 事例検討	準備学習項目： (1) 動物や人体による研究を説明できる。 講義： (1) 医療と研究における倫理的問題を説明できる。 (2) 自己決定権を尊重した医師 - 患者関係のあり方を説明できる。 (3) 臨床倫理の考え方としての「臨床倫理の4分割表」について説明できる。 LS：教科書、プリント、マルチメディアによる講義 < A-1, A-2, B-1-4) / 必-1-A, 必-1-B, 必-2-E >	辻典明
5月16日(月) 1時間 14:00～14:50	同上	同上	同上
5月23日(月) 1時間 13:00～13:50	歯科医師の責務と裁量権 - 生と死に関する倫理 - 事例検討	準備学習項目： (1) 患者の人権について説明できる。 講義： (1) 尊厳死、安楽死における倫理的問題を説明できる。 (2) ターミナル・ケア(終末期医療)について説明できる。 (3) 癌の告知と患者心理について説明できる。 (4) リビング・ウィル(生前発効遺言)について説明できる。 LS：教科書、プリント、マルチメディアによる講義 < A-1～A-4, B-2-2) - ~ / 必-1-A, 必-1-B, 必-2-A-e >	辻典明
5月23日(月) 1時間 14:00～14:50	同上	同上	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月30日(月) 1時間 13:00～13:50	医療における質の保証 - - 適切な医療と医療評価 -	準備学習項目： (1) 一般的な評価について説明できる。 講義： (1) 適切な医療に求められる要件について説明できる。 (2) 医療の質の評価について説明できる。 (3) 病院機能評価について概説できる。 LS：教科書，プリント，マルチメディアによる講義 < B-1-4) / 必-4-A，必-4-B，必-5-B >	梅里良正
5月30日(月) 1時間 14:00～14:50	同上	同上	同上
6月6日(月) 1時間 13:00～13:50	医療における質の保証 - - IT活用による医療の質と効率の管理 -	準備学習項目： (1) ITのもたらす効果について説明できる。 講義： (1) 医療の効率性を説明できる。 (2) 病院管理におけるIT化の重要性について説明できる。 (3) 診療実績の開示について説明できる。 LS：教科書，プリント，マルチメディアによる講義 < A-5-2)，B-1-4)，C-4-3) / 必-12-A-a，必-12-A-b，必-12-D，必-5-B-b >	梅里良正
6月6日(月) 1時間 14:00～14:50	同上	同上	同上
6月13日(月) 1時間 13:00～13:50	中間試験	中間試験	伊藤孝訓
6月13日(月) 1時間 14:00～14:50	トリアージ	準備学習項目： (1) 災害により発生する問題について説明できる。 講義： シネエデュケーション「トリアージ」 (1) 患者の自己決定権について説明できる。 (2) ICの法的義務について説明できる。 (3) 緊急時のICについて説明できる。 LS：プリント，VTR < A-1,A-3 / 必-1-A-a，必-1-B-a，必-2-A-e，必-2-B >	同上
6月20日(月) 1時間 13:00～13:50	歯科医療における安全性への配慮 - - ヒューマンエラー -	準備学習項目： (1) 人の心理について説明できる。 講義： (1) 医療の不確実性について説明できる。 (2) ヒューマンエラーについて説明できる。 (3) 日本の医療リスクマネージメントの現状を説明できる。 (4) 医療事故はどのような状況で起こりやすいかを説明できる。 (5) クリニカルパスがリスクマネージメントの有用なツールであることを説明できる。 LS：教科書，プリント，マルチメディアによる講義 < A-5-1),A-5-2) / 必-4-B，必-12-A-b >	伊藤孝訓
6月20日(月) 1時間 14:00～14:50	同上	同上	同上
6月27日(月) 1時間 13:00～13:50	歯科医療における安全性への配慮 - - 安全性の確保、医療倫理 -	準備学習項目： (1) エラーはどんな時に起こるかを説明できる。 講義： (1) 医療事故を防止するには、個人の注意力はもとより組織的なリスク管理が必要であることを説明できる。(医療施設のリスク・マネージメント) (2) 事故の可能性を予測し、それが重大事故につながらないシステム(フェイル・セーフ)の必要性を説明できる。 (3) 医療機関における安全管理体制(事故，ニアミス報告書，リスク管理者，事故防止委員会，事故調査委員会等)を概説できる。 (4) 歯科医療事故とニアミスの違いを説明できる。 (5) 歯科医療における事故の特異性を説明できる。 (6) 医療事故やニアミスの事例の原因を分析し、防止対策を説明できる。 (7) 医療事故やニアミス発生時の適切な対応を説明できる。 LS：教科書，プリント，マルチメディアによる講義 < A-5-1),A-5-2) / 必-4-A，必-4-B >	福本雅彦
6月27日(月) 1時間 14:00～14:50	同上	同上	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月4日(月) 1時間 13:00～13:50	医療倫理実践のためのコミュニケーション -患者中心の医療と医療面接-	準備学習項目： (1)医療における患者と医療者の目的の違いを説明できる。 講義： (1)患者・家族との信頼関係を築くことの重要性を説明できる。 (2)個人的、社会的背景が異なる患者に、わけへだてなく対応するスキルを説明できる。 (3)患者の価値観が多様であることを認識し説明できる。 (4)病状や治療法について説明する際のスキルを列挙できる。 LS：教科書、プリント、マルチメディアによる講義 <A-3, A-4, B-2-1), B-2-2)/必-2-A-e, 必-2-B-a, 必-2-B-c>	青木伸一郎
7月4日(月) 1時間 14:00～14:50	同上	同上	同上
7月11日(月) 1時間 13:00～13:50	日本人の死生観	準備学習項目： (1)「死とは」について概説できる。 講義： (1)生と死に関わる倫理的問題を説明できる。 (2)日本人の伝統的の死生観について概説できる。 LS：教科書、プリント、マルチメディアによる講義 <A-2- /必-1-A, 必-2-A, 必-2-B>	江口正尊
7月11日(月) 1時間 14:00～14:50	同上	同上	同上
7月25日(月) 1時間 13:00～13:50	医療倫理実践のためのコミュニケーション -倫理的ジレンマについて考える-(演習)	準備学習項目： (1)これまでの学習内容を概説できる。 講義： (1)倫理的ジレンマを説明できる。 (2)医療倫理の4原則を説明できる。 (3)医療者と患者の立場を説明できる。 (4)考えをまとめて文章で論述できる。 LS：教科書、プリント、マルチメディア、演習 <A-1～4, B-1-1), /必-1-A, 必-1-B>	伊藤孝訓
7月25日(月) 1時間 14:00～14:50	同上	同上	同上